

(別紙1)

## 全身性障害者移動介護従業者養成研修課程カリキュラム

教科名	目的	内容
I 講義 12時間		
1 障がい者福祉に係る制度及びサービスに関する講義 (3時間)		
(1) 障害者自立支援制度とサービス (2時間)	障害者自立支援制度のサービスの種類、内容、役割を理解する	・障がい者(児)福祉の背景と動向 ・障害者自立支援制度とサービスの種類、内容とその役割
(2) 移動介護の制度と業務 (1時間)	移動介護の制度と業務を理解する	・移動介護の制度 ・移動介護従業者の業務
2 身体障がい者居宅介護等に関する講義 (3時間)		
(3) 居宅介護概論 (2時間)	居宅介護の役割と業務を理解する	・居宅介護の社会的役割 ・居宅介護の制度と現状 ・居宅介護業務の基本 ・関連機関との連携
(4) 居宅介護従業者の職業倫理 (1時間)	居宅介護に従事する際の職業倫理について理解する	・福祉業務従事者としての倫理 ・居宅介護においてとるべき基本的態度
3 全身性障がい者の疾病、障害等に関する講義 (2時間)		
(5) 重度肢体不自由者(児)における障害の理解 (1時間)	業務において直面する頻度の高い障害、疾病を医学的、実践的視点で理解するとともに、介助に必要な状態像を把握する	・肢体不自由の原因疾患(脳性まひ、脳血管障害、頸髄損傷など)及び症状の理解 ・肢体不自由者(児)の社会参加 ・移動介助の際の留意点
(6) 介助に係わる車いす及び装具等の理解 (1時間)	移動介助に必要な車いすや装具等について知識を深め、それらの機能を把握する	・車いすの構造と機能 ・電動車いすの構造と機能 ・重度肢体不自由者用の車いすの構造と機能 ・装具や自助具等の機能
4 基礎的な移動の介護に係る技術に関する講義 (3時間)		
(7) 姿勢保持について (1時間)	良好な姿勢保持の必要性を理解するとともに、その方法を修得する	・良好な姿勢の必要性 ・良好な姿勢保持の方法 ・姿勢保持の留意点
(8) コミュニケーションについて (1時間)	言語障害についての理解を深め、言語障害のある人への接し方を習得する	・言語障害の種類と特徴 ・言語障害のある人への接し方
(9) 事故防止に関する心がけと対策 (1時間)	事故防止のための方法や事故が起きた時の対応方法を習得する	・事故防止のための移動の留意点 ・事故時の対応 ・安全な食事介助 ・介助者自身のからだの保護

教科名	目的	内容
5 障がい者の心理に関する講義（1時間）		
(10) 障がい者（児）の心理 （1時間）	障がい者（児）の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の心理と人間関係</li> <li>・肢体不自由者の心理的特徴</li> </ul>
II 演習 4時間		
1 車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習（4時間）		
(1) 抱きかかえ方及び移乗の方法 （1時間）	車いすへの移乗に際しての抱きかかえ方や移乗の方法を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床と車いす間の移乗</li> <li>・ベッドと車いす間の移乗</li> <li>・2人の介助者で行う場合</li> </ul>
(2) 車いすの移動介助 （2時間）	車いすでの移動を介助する場合の車いすの取り扱い方や平地、階段での移動方法などを習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすの取扱い方</li> <li>・車いす移動介助における注意（雨の日）</li> <li>・平地での移動</li> <li>・階段における移動</li> <li>・エレベーター、エスカレーターの利用</li> <li>・乗り物を利用する場合の注意</li> <li>・歩行移動介助方法の留意点</li> </ul>
(3) 生活行為の介助 （1時間）	外出時に排泄、食事、衣服の着脱を行う際に安全な介助方法を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の介助方法</li> <li>・衣服着脱の介助方法</li> <li>・排泄の介助方法</li> </ul>